

指針の対象となる細胞について

現行ヒト幹指針の幹細胞

	自己由来			同種由来(他家)		
	採取	調製	移植 投与	採取	調製	移植 投与
体細胞	◎	◎	◎	◎	◎	◎
体性幹細胞	◎	◎	◎	◎	◎	◎

造腫瘍性
のリスク

ほとんど無し

ほとんど無し

ウイルス伝搬のリスク

改正指針の幹細胞

	自己由来							同種由来(他家)						
	採取	調製	移植 投与	採取	樹立	調製	移植 投与	採取	調製	移植 投与	採取	樹立・ 分配	調製	移植 投与
体細胞	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	WG①	WG①	△	△
体性幹細胞	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	WG①	WG①	△	△
iPS細胞*				○	○?	○	○				WG①	WG①	△	△
ES細胞				WG②③ (クローン ES細胞)	WG②③ (クローン ES細胞)	△	△				WG①②	WG①②	△	△

造腫瘍性
のリスク

ほとんど無し

ほとんど無し

奇形腫
発癌

倫理的課題 奇形腫

感染リスク

樹立による汚染拡大のリスク

ウイルス伝搬のリスク

樹立による汚染拡大のリスク

- ◎ 現行指針で可能な範囲
- 今回の検討で可能となる範囲
- △ 採取・樹立の検討が先行

検討課題

- WG① 同種由来の細胞株を採取・樹立する時の問題点の整理
- WG② ヒト胚を臨床研究に用いる際の倫理的課題
- WG③ ヒト未受精卵を臨床研究に用いる際の倫理的課題